

日本における令和5年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



## 人権標語コンクールの感想紹介

毎年行われている第四中人権標語コンクール。今回はボランティアの人たちが中山商店会のお店に掲示を依頼してくれたので、たくさんのお店に標語ポスターが貼られています。ボランティアを引き受けてくれた人たち、本当にありがとう。遅れましたが、コンクールの感想紹介です。

☆私は公民という授業を習い、今では差別を無意識にしないように心がけていますが、まだ公民を習う前の自分はとても恥ずかしいですが、障がいがある方や、刑を終えた方、男性の方で女性の姿、女性の方で男性の姿をしている人たちを見ると、あの人変わっているとか、あの方は罪を犯していたから怖いなどの偏見を持っていました。これが差別だとも知らずに考えてしまっていました。なので、この人権標語を考えるというのはとても大切で、これにより差別の内容を知ることができて差別をする人がだんだん少なくなっていくのではないかなと思うからです。

★自分が標語を作るとき、たくさんの人権課題があることにとても驚いた。今の日本にはこれだけの種類の人権課題があるのだと気づくことができた。ニュースなどで見たことがある内容でも、自分と重ねて考えてみると、どこか遠くに感じてしまっていた。でも四中で人権チェックや人権標語をやって、身近にあるけれど、その重大さに気づけていないから『人権問題』と言うんだなと思った。今までの知識が薄かった自分を反省して、今後はもっとたくさんの人権問題について知りたいと思った。未来の日本や世界を作る中心となるのは私たちだと思うから、私たちの世代の一人一人の人権意識が上がるといいなと思った。

☆人権は自分の身近な所にあるので、自分自身が人権に対する理解を深めることが自分や他人のことを守ることにつながると思いました。人権を考えるには、まず、相手の立場になって考えることが大切だと思いました。

★今までに差別する人や差別してくる人に対してあまり強く言ったり、自分の意見を言ったことがなかったけど、みんなの標語のように、自分から差別をなくそうと言ったりすることは相手のためにもなるんじゃないかと思った。

☆僕は特に「好きなものを好きだと叫ぶ」という言葉が心に残りました。自分の趣味を恥じることなく、自分らしく生きたいと思いました。

★人は普通なんてものではなく、それぞれ違うからこそ、互いに成長していけると思うので、多様性を認め合う社会にもっとなれるように自分でも気を付けていきたい。

☆私は「多様性 責任もって 使おうよ」にハッとした。多様性についていう人は増えたが、果たして本当に心まで多様性を意識しているのか、責任もっているのか？私もしっかり理解を深めて責任を持てるようにしたい。

★みんな流れている血の色は赤いのに、なぜ肌の色や、自分と違うということで差別してしまうのか。

☆「人権」と一言と言っても様々な問題があるのだと改めて感じ、同時にこれらを解決するには「相手を思いやること」が大事だと思った。なので自分は誰に対しても思いやりを持った言動ができるようにしていきたいと思えます。

※他にも、今までの自分を反省し、もっと人権を意識したいというような感想が多かったです。